

重伝建保存地区漆工町のある木曾平沢に木製漆塗りポストの設置事業**取組に至る背景・事業の目的**

木曾平沢区は伝統的工芸品木曾漆器の産地であり、400年以上の長きにわたり、地区をあげてその伝統を先代から受け継ぎ守り続けてきた。しかしながら、ピーク時に85億円だった漆器製品の出荷額は、20年には29億円まで減少し、一時は地区内の8割を超える区民が何らかの形で漆器産業に関わっていたが、現在では5割を下回っている。このような現状を踏まえ、漆器産業に関わる区民はもちろんのこと、関わらない区民も一体となり、伝統工芸品の産地を永代まで残すための事業を展開する。本事業を通じて、後継者の育成も図っていく。

また、木曾平沢の町並みは、平成18年7月に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、町並みの整備が進んでいるが、完了までには10余年の長い年月がかかる。その間の町並みの統一感を醸成する。

事業内容

○木曾平沢区の全戸に、木地の一部に長野県産材のカラマツを用いた漆塗りの郵便受けを設置する。

○製作は木曾平沢地区の木工、塗り職人が行い、設置は、全区民による取り付け作業を行う。

○生産については、地域の主産業の組合である木曾漆器工業協同組合が全面協力し、材料の木材、漆、塗り職人の便宜を図る。



【住民同士、助け合って郵便受けを設置】

事業効果

地区内の郵便受けが、木曾漆器の産地を象徴し、他には例を見ないモデル的な町並み、景観となる。また、漆塗りの郵便受けは、新しい製品として域外の各所に設置されていく発展性がある。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

木曾平沢の町並みの統一感ができた。訪れた方の漆塗りポストの評判もよく、同じように設置したいとの問い合わせもあり、これをきっかけとして漆器産業に新たな商品開発ができたと感じている。

今後はこれをさらに全国に発信し、地場産業の発展に貢献してくれたらと期待している。

サイズ・デザイン・色など木製の漆塗りポストは色々なニーズに応えられる物で、長期にわたって使用可能であることも利点のひとつである。

【選定のポイント】

伝統的工芸品の産地を永代まで残す取組みとして、漆塗り郵便受けを区内全戸に設置したことにより、町並みに統一感が生まれ、漆器の産地であることを訪れた観光客にPRするとともに、停滞する地場産業の再活性化に向けて取組が広がっていることを評価した。

団体名 平沢区自治協議会（塩尻市）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先 会長 瀧澤 廣康	事業費	5,040,840円
電話番号 0264-34-2220	支援金額	4,000,000円